

修士論文

★ 2000 年度 修士論文について ★

2000 年度修士論文の募集に対して多数のご応募をいただき有難うございました。ページ数制限等のため掲載可能な論文は応募いただいたうちの一部に限定されましたが、力作揃いで選考には大変苦勞しました。

掲載予定の論文は以下の通りです。

[本号掲載]

- 富樫 祐一 (東大・総文)
「反応ネットワークにおける分子数の離散性効果」
- 三瓶 明希夫 (京大・人環)
「非中性プラズマを用いた 2 次元渦運動の実験的研究」
- 原賀 智子 (お茶女大・人文)
「核磁気共鳴法による分子内水素結合とプロトン移動反応速度の研究」
- 俵口 忠功 (広大・先端研)
「Divergence-free WKB 法 (3 次の代数方程式に基づく WKB 法)」

[次号以降掲載、掲載号未定]

- 坂上 貴洋 (京大・理)
「semiflexible 高分子鎖の折り畳み転移における速度論」
- 森田 真規子 (東工大・理工)
「乱れたアモルファス超伝導薄膜の極低温における輸送現象と磁束状態」
- 石原 秀至 (東大・総文)
「多重定常状態の履歴依存性」
- 柳澤 達也 (新潟大・理)
「重い電子系 CeRu_2Si_2 のメタ磁性転移における弾性異常と緩和現象の研究」

尚、●印の論文については、カラーの図が多く、白黒印刷である当誌への掲載は不適當であると判断されましたが、試験的に「物性研究ホームページ」からリンクをはるという形をとり、本号でアブストラクトのみを掲載しています。

以下のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/printed/master-kettei.html>

(物性研究編集委員会)